

治安・安全情報

(リヨン及びローヌアルプ州)

平成25年(2013年)4月
在リヨン出張駐在官事務所

目次

1. 今月の安全・防犯のポイント
2. 在留邦人の被害事例
3. 地区別治安情報収集結果(新聞 Le Progrès 紙より)
4. 今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件(新聞 Le Progrès 紙より)
 - ① 窃盗犯罪事件
 - ② 粗暴犯罪事件
 - ③ 凶悪犯罪事件
 - ④ 知能犯罪事件
 - ⑤ その他の事件
 - ⑥ テロなどに関する一般治安情報
5. 今月の出来事

1. 今月の安全・防犯のポイント

携帯電話の盗難

先月から、リヨン市内公共交通機関の車内では、携帯電話の盗難が多発しているため、乗客に向けて注意するように呼びかけるアナウンスが流されている。今月も、若者による携帯電話のひったくり事件が多発している。犯行の後、犯人が逃げやすい場所や瞬間(ドア付近や地下鉄のドア開閉時、地下鉄ホーム)にいるときは特に注意する必要がある。

空き巣犯罪の爆発的増加

ローヌ県警察本部長 Albert DOUTRE 氏は、最近リヨン近郊で、毎日平均19件の空き巣犯罪が発生していると発表した(4月25日)。今年に入ってから空き巣事件は30%増加しており、そのうち未成年者による犯罪が30%を占めているという。また、外国人浮浪者による犯罪も三割を占め、特に東欧からの空き巣専門窃盗団による犯罪が増えているとのこと。リヨンでは、80人の警官(35人の県警公安課を含む)が空き巣犯罪のために捜査をおこなっており、ビデオ監視システムなどでも対応をしている。県警本部長は、『近所づきあい、住民の連帯団結』の重要性をうたい、一般市民への防犯の協力を呼びかけている。

2. 邦人の被害事例

4月9日、旅行中の日本人男性が Lyon-Part-Dieu 駅でベンチに座って電車を待っていたところ、見知らぬ人から電車の出発の時間を尋ねられたので、後方にある時刻掲示板を振り返って見ているうちに、横においていた貴重品とコンピューターの入った鞆を盗まれていた。同男性は旅慣れており、注意していたつもりだったが、一瞬の隙を狙った犯行であったとのこと。

3.地区別 治安情報集計結果

2013年4月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	東	西	南	北	AIN 県	Isere 県	Loire 県	合計
凶悪犯 (殺人、強盗、放火、強姦)		1											1	1	1	1	5
粗暴犯 (暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合)		3	2	1	2		1	1	4	4		3	1				22
窃盗犯 (侵入盗、乗り物盗、車上荒らし、ひったくり等)	1	3	3	1		1	4	2		3		2	3				23
知能犯 (詐欺、横領等)			2							1			1				4
その他 (賭博、売春、麻薬密売、迷惑行為等軽犯罪)		5	4		1		1	4		16	1	3	1				36
合計	1	12	11	2	3	1	6	7	4	24	1	8	7	1	1	1	90

※ 数字はプログレ紙に掲載された犯罪記事発出数で、統計的な意味はない。

グランリヨン東→Jonage, Meyzieu, Décine-Charpieu, Chassieu, Saint-Priest, Bron, Villeurbanne, Vaulx-en-Velin, Mions

グランリヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon

グランリヨン南→La Mulatière, Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison, Vénissieux, Solaize, Saint-Fons, Irigny, Feyzin, Corbas, Vernaison, Charly, Grigny, Givors

グランリヨン北→Caluire, Rillieux, Sathonay, Fontaines-sur-Saône, Fontaines-St-Martin, Rochetaillée-sur Saône, Mont-d'Or, Limonest, Lissieu, Neuville, Cailloux-sur-Fontaines, Montanay, Genay

4.今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件 (新聞 Le Progrès 紙より)

① 窃盗犯罪事件

4月2日、Rillieux-la-Pape 市で、2011年末から2012年9月の間にリヨン市とVilleurbanne 市で盗難にあった小切手を闇で購入し、それを他人に現金化させ 13 700€をだましていた若者が逮捕された。

4月2日リヨン市第8区で、警察官の指示に従わないスクーターを運転していた17歳の若者が、偽のピストル、覆面と手袋を二つ所持していたために、自宅を調査したところ、8mm の銃弾、サイレンサー (銃の消音器)、ホルスターが見つかり、また、今年2月にリヨンの弁護士事務所から盗まれた小切手帳なども見つかった。

4月4日午後3時ごろリヨン市第8区で、アパートの住民が自分の部屋のドアを壊して二人組が侵入してくる音を聞き、すぐに警察に通報した後、自分はバルコニーに隠れていた。その後駆けつけた警察がその場で宝石や電話を盗んでいた侵入者を逮捕した。この2人は、27歳と29歳のグルジア共和国出身の男で、フランス語を話さずロシアの偽身分証明書を所有していた。

4月4日昼ごろ、リヨン市第7区で、建物の4階にあるアパートに入った泥棒が出て行ったところを目撃したという通告がいくつか警察に入った。泥棒はドアの鍵を壊して侵入し、室内にあった物品を盗んでいった。警察が地域で取調べを行い、まもなく2人の容疑者がつかまった。そのうちの1人は、盗難品 (PC) の入った鞆を、そして2人のポケットには、クレジットカードや時計、携帯

電話などがはいていた。この2人は Vénissieux 市在住の18歳と23歳の若者。

4月5日、リヨン市第7区で、今年2月にアパートに仲間と共に空き巣に入った16歳の若者が、その後のDNA鑑識結果により認識され逮捕された。

今年1月に逮捕された、45歳の男とその義姉50歳は、老人を狙った窃盗を繰り返しており、24件の窃盗の疑いで取り調べられていたが、新たに16件の窃盗も浮かび上がってきた。この2人は、リヨン近郊だけではなく、Chambéry市、Grenoble市、Villefranche市、Bourgoin市、Rive-de-Gier市などでも、同様の窃盗を繰り返していた。その手口は巧妙で、まず窃盗を行う前に、狙いをつけた老人に、女が建物の入り口で話しかけ、又は近所の住人を装うなどして近づき、水漏れがあると言いながら老人の住宅に入り込む。その後、警察と名乗る男が現れ、先程の女に何も盗まれていないか確かめるように指示し、宝石やクレジットカード現金などの保管場所を見ておく。被害者のなかには、外出時に後を付けられ、ATM現金引下機で引き下ろしている最中に話しかけられ、暗証番号まで盗み見られていた人もいた。

4月7日リヨン市第7区で、17歳と20歳のアルバニア人が女性の鞆をひったくった罪で逮捕された。女性からひったくった鞆を1人が路上駐車してある車の下に隠し、もう1人の仲間に電話。鞆をひったくった男は、現場を見ていた隣人が警察に通報したためにすぐつかまり、その後に鞆を探しに来た仲間も続いて逮捕された。

4月7日リヨン市第7区でのローヌ河沿いで、同区に住む若者が四人の未成年者から襲われ、スマートフォンと腕時計、指輪などを奪い取られた。その後、4人のうちの2人の未成年者が逮捕された。

4月10日午後4時ごろ、Villeurbanne市Roger Sallengro大通りにある21歳の若者のアパートに武器を持った男3人が押し入り、若者とその家族の女性を脅し、アパート内にあった40ユーロを奪って逃走した。

4月10日午後9時ごろ、リヨン市第4区にあるスーパーCarrefourに強盗が入ったが、結局は未遂に終わり、犯人は何も盗らずにスクーターで逃走。従業員は階上に避難していた。

4月16日、2011年9月からリヨン周辺地域で窃盗を働いていた、グルジア出身の4人の男性が逮捕された。約75件の被害届けがでていたこの窃盗団の手口は、錠前職人の1人がドアを開ける鍵を作り上げ、あとの3人が車で現場に向かい、内2人が入り口ドアを破壊せずに留守宅へ侵入し、家の中から宝石や現金、コンピューターなどの貴重品を盗み、外で待っている車にのってすばやく逃走するというパターン。錠前職人のアパートからは合鍵などを作成する精密機械がみついている。この4人は皆、30代の麻薬中毒者で、リヨンの市内の病院で治療を受けたことがある。錠前職人は膝にロシアンマフィアのシンボルマークの刺青があった。

4月17日午後、Villeurbanne市でルーマニア国籍若者二人が、地下鉄のCharpennes駅で23歳の女性から携帯電話を盗んだ疑いで逮捕された。

4月17日午後5時ごろ、Villeurbanne市Tolstoi通りで19歳の浮浪者が逮捕された。この男は、ガレージの壁を登って中に侵入、捜査の結果、同じVilleurbanne市で昨年9月発注したカメラやコンピューターなど被害額約8000€の盗難事件の犯人と同一人物だったことが判明、この男の前科は合計70件以上に及ぶこととなる。

4月20日午後リヨン市第3区、Part-Dieu ショッピングセンター内の店 FNAC で、2歳の子供達を連れたルーマニア国籍のカップルが盗難で現行逮捕された。DVD 80€相当を盗んでいたが、この男性は、すでに集団窃盗の罪で指名手配されていた。

4月22日、リヨン市第8区 Albert Thomas 通りのバーで、17歳の若者が20歳の女性の携帯電話を盗んで逃亡。女性は後を追いかけたが若者が殴りつけ、そのまま地下鉄にのって逃げた。その後、Guillotière 駅で犯人は逮捕された。

4月23日午後、リヨン市ベルクール広場で、18歳の女性が二人の若者に暴力的に脅され携帯電話を奪われる事件が発生した。この2人の若者(15歳と18歳)は、その後夕方5時ごろに Cordeliers 広場で逮捕され、10ヶ月の有罪判決を受けた(うち一人は七ヶ月の執行猶予)。

4月23日の夜中に、Neuville-sur-Saône 市と Saint-Georges-de-Reneins 市の銀行 la Caisse d'Epargne の ATM 現金自動引出機が爆破された。二件とも同じ手口で、犯人たちは監視カメラを隠してから ATM 機にガスを注入して爆破しているが、いずれも現金は持ち出せずに終わっている。

4月24日午後6時ごろ、リヨン市第2区地下鉄ベルクール駅で、15歳の若者から携帯電話をひったくった男を逮捕、このほかにも盗んだ二つ目の携帯電話を所持していた。

4月25日午後6時半頃、リヨン市第3区の Part-Dieu 駅で男が若い女性から携帯電話を奪ったところを目撃した男性が、その犯人(ルーマニア国籍の20歳男性)を捕まえて携帯電話を取り返し、警察に引き渡した。

4月25日夜、リヨン市第8区、Laennec 通りにある商店に侵入し盗難した23歳と25歳の男が、出てきたところを現行逮捕された。1人はパールをもっており、すぐに拘留された。

② 粗暴犯罪事件

4月1日早朝、環状線上で交通違反をした車を警察が停車させ尋問しようとしたところ、急発進して Bron 市の出口から赤信号を無視しながら逃亡、トラム車両に道を塞がれたため、停車する素振りを見せたものの、結局は警察官に向かって車を突進させた。警察官はフラッシュボール銃を発射し衝突を避けた後、男性を逮捕した。

4月1日正午ごろ、グルノーブル-リヨン間の TER 列車内で、女性が23歳の男に顔を殴られ、他の乗客1人も暴力を受けた。その後その男は警察に逮捕された。

4月3日真夜中、リヨン市第5区のソーヌ河沿いを走っていた TCL のバスの中で、酒に酔った18歳と28歳の男が携帯用棍棒を使って暴力を振るい、バスのドアを破壊した。乗客に怪我は無かった。警察が駆けつけたときには抵抗し、1人は警察官に噛み付いた。このうちの1人は、前科のある者で金曜日には裁判所へ送られ、もう1人は釈放された。

4月5日午前4時ごろ、Vernaison 市の Crédit Agricole 銀行に、ATM 現金自動引下機の前にスイスのナンバープレートをつけたベンツがトランクを開けて駐車しているのを警察の車が発見した。警察は2人の人間の姿を認め、機械が黒くなっていたため介入したところ、2人は車に飛び乗って逃走した。その際に警察官が1人車に挟まれて足に怪我を負った。犯人はそのまま逃走し、乗り捨てた車は数キロ先の Feyzin 市で見つかっている。

4月8日、Lyon-Vienne 間を結ぶバス101番の運転手が、バス停以外の場所でバスを停車させ

て乗車させなかったことに激怒した若者からナイフで威しを受けた。

4月14日、Villeurbanne 市内にある社会センター、Cercle Marcel Brunot に15歳の若者4人が忍び込んで、鍵や床のタイルを破損し、家具などをプールの中に捨ていれて器物損壊（約5000€）の犯行をおこなった。

4月14日、リヨン市第8区に在住の30歳の男性が、ソワレの帰り道に送っていくと誘った2人の若い女性に暴力を振るった。乗っていた車のタイヤがパンクしたため男がその交換をしていると、女性たちは歩いて帰宅すると言い出し、それに腹を立てた男は、女性を地面に倒して激しくなぐり、全治数日間の怪我を負わせた。通行人の通報で警察がかけつけて事態は收拾した。

4月15日午後6時ごろ、リヨン市第5区 Pierre Valdo 通りで17歳の高校生が力づく携帯電話をひたたくられた。高校生は犯人の跡を追って電話を取り戻そうとしたが、逆に石で頭を殴られ逃げられてしまった。

4月15日午後6時30分ごろ、Villeurbanne 市の Joliot -Curie 通りにある子供広場で、32歳の酔っ払った男が、突然4歳の女兒に近づき、理由もなく女兒のひざを蹴り、ビール瓶の入った袋で頭をなぐった。その男はその夜8時30分ごろに公園の付近で逮捕された。

4月16日リヨン市第2区、地下鉄ベルクール駅構内で28歳の女性が34歳の男に性的暴行をうけ、その後男はすぐに逮捕された。

4月17日午後3時45分、Villeurbanne 市 la Poudrette 通りで、その30分前に盗難被害ののでている車を運転している21歳の若者を、警察が Bron 市で見つけ停まるように指示したが、Vaulx-en-Velin 出身のその若者は従わずに故意に警察の車に衝突し、他の車にも衝突させた。歩いて逃亡しようとしているところを逮捕されたが、その際に警察官に5日間の怪我を負わせている。

4月17日午後6時30分、Villeurbanne 市で16歳の若者が、道路交通取り締まりの際に警察官に小さなオートバイで突っ込み、全治4日間の怪我を負わせた。

4月17日午後9時ごろ、Rillieux 市において、TCL リヨン公共交通バス内で、暴言をわめき散らし他の乗客に迷惑をかけている男性に、運転手が落ち着くように話しかけたところ、男は運転手にとびかかり、顔と肩に二箇所ドライバーを突き刺した。驚いた運転手はバスの窓から逃げ出した。男は運転手をあとから追いかけた。その夜午後11時ごろに逮捕されたこの49歳の男は酒気を大量に帯びており、運転手は全治五日間の怪我を負った。

4月18日午後10時ごろ、Villeurbanne 市の teinturiers 広場で5人の若者が激しく騒いでいたために、近所の住民が警察に通報。警察が尋問しようとする、ビールを飲んでいた若者達は抵抗して警察を侮辱。そのうちの3人は、警察に前科のある男性で逮捕され、後日軽罪裁判所に召集されることになっている。

4月22日午前5時ごろ、リヨン市第5区の Saxe 大通り 45 番地にある眼鏡店に、車をバックさせてガラスを割り突っ込み、100個以上の眼鏡を盗んで逃亡した。被害額は不明。

4月22日午後7時半ごろ、Bron 市の Roger Salengro 通りと Jean-Jaurès 通りの交差点にあるバーに長い武器と催涙ガスをもった2人の強盗がはいった。催涙ガスをまいて、カウンター内の引出しから約400€を盗んだ後、スクーターで逃亡した。

4月22日夜、リヨン市第8区で、同棲している21歳の女性を引っ叩き、金槌でなぐった24歳の男が逮捕された。被害者は大怪我にはならなかったとのこと。

4月23日午後0時ごろ、リヨン市内の地下鉄の中で、体を露出しながらダイビングナイフで乗客を脅している61歳の男を逮捕した。精神病棟から追い出されたと供述するこの男は、後見人がついており、2009年にも公共交通機関内での暴力で有罪判決をうけている。

4月23日、Venissieux市の職業安定所を何度も訪れ、興奮して家具をひっくり返したりホッチキスをばらまいたり、また、職員を押ししたり侮辱したセネガル出身の31歳の男を、裁判所は6ヶ月の有罪判決とした。

4月23日午後五時ごろ、Vaulx en Velin市のla Soie地区のトラム駅で10人ぐらいのロマ人のグループが激しい口論を始め、そのうち1人の若者が地面に倒されめった打ちにされた。

4月26日夜、リヨン市第3区 Part-Dieu ショッピングセンター内で20歳の若者と32歳の浮浪者が、ドライバーで38歳のディジョン出身の男性に暴行をふるい軽症を負わせたところを、直後に逮捕された。

③ 凶悪犯罪事件

4月4日午前10時ごろ、リヨン市第2区 Auguste Comte 通りにある宝石店 Descours に強盗がはいった。当時店内には4人の従業員関係者がいた。最初にレインコートを着た男がベルを鳴らしたため店に入れたが、入ったと同時に顔を布で隠し、直後に覆面をした2人目の男が入ってきた。2人は、大きな拳銃で脅し金庫を開けさせ、従業員4人を床に伏せさせたまま金庫の中身を奪い取り、大きなスクーターにのって釘を撒き散らしながら逃走した。被害額は不明。

4月15日、Cours la Ville市の宝石店に二人の男が強盗にはいった。この2人は覆面をし、ハンマーと空気銃をもって、入り口のドアを破壊して侵入。店の奥にいた店員は監視カメラで様子を知り、発煙システムを作動させた。煙に驚いた2人は一度店から出たものの、再度もどって、手当たり次第のものを盗んで、スクーターで逃亡した。被害額はまだ分かっていない。

4月23日、Caluire et Cuire市にある金属レーザー版刻印会社に、覆面をして武器を持った3人の男が押し入り、社長をなぐって脅迫した。2年前までこの会社は宝石類の貴金属を取り扱っていたため、それを狙って襲ったようだが、結局は何も目当てのものがなく、真鍮のプレスレットの入った袋を奪って逃走した。

4月23日、イゼール県のMoirans市で、アパートの冷凍庫の中に乳児の遺体があるのを男性が発見した。その同居者である28歳の女性が警察で取り調べをうけ、24日には遺体解剖される。この女性は現在病気休業中のソーシャルアシスタントで、他の男性との間に2人の子供がいる。その後の調べで、新たに出産したことを絶望的に思い、首を絞めて殺したことが分かった。

④ 知能犯罪事件

4月12日、雇用者のガソリンスタンドカードを3年間も不正に使用していた48歳の男が逮捕さ

れた。リヨン市第 3 区にあるガソリンスタンドの従業員らも黙認しつつ加担しており、ガソリン代以外にも、洗車や店内での買い物、又、先払いとしてカードで支払った分の現金を返金するなどの不正を行っていた。被害額は数千ユーロに及ぶとのこと。

⑤ その他

3月27日、リヨン市第3区 Gabriel Péri 広場横にある、スナックの経営者35歳と従業員（24歳のチュニジア国籍）、及び1人の女は、3年前から続いていた大麻やコカイン等の所持及び流通、麻薬取締り違反で逮捕された。リヨン市第3区 Gabriel Péri 広場は、様々な違法取引販売（違法タバコや盗難品など）が行われていることで有名。

3月30日に、Villeurbanne 市在住の23歳男性は、Oullin 市で車内に麻薬を所持しており配達しようとしているところを逮捕された。両親も同居する男の自宅を取り調べたところ、他にも大量の各種違法薬物がみつかったが、本人は預かって配達をしていただけと供述。この男は過去にも様々な違反で有罪判決をうけており、昨年12月に仮保釈になった身分だった。

4月10日、Caluire 市の倉庫で、許可を得ず違法に中古車両を解体し、部品を売りさばっていた51歳の業者が逮捕された。この業者は、無許可営業で環境汚染物質を垂れ流し状態で作業を行っていただけでなく、破壊すべき車両をアフリカのガボンへ輸出などもしていた。

4月17日午前10時ごろ、Bron 市の LYON 第二大学構内で、学生が露出狂らしい怪しい男性をみかけたため警察に通報。駆けつけ警察はその後その男を逮捕したが、男は2人の子を持つ27歳の土木職人で、すでに同じ露出狂で3度有罪判決をうけている。

4月18日午後3時ごろ、リヨン市第2区 Carnot 広場で、タバコの違法販売をしていたユーゴスラビア出身の40代の男が逮捕された。この男は、3月29日、4月4日にも同じ容疑でつかまり釈放されていたが、今回は男の車の中と自宅で、合計18キロの煙草と現金280€を押収した。

4月18日に、Bruxelles-Marseille 間の TGV の中で、税関吏が尋問した21歳と26歳の男を、麻薬保持で逮捕した。この2人は、ヘロイン1kg（推定価格27250€）コカイン500g（推定価格21960€）を所持していた。

4月22日前後、防犯警察はリヨン市と Bron 市で合わせて、三度も武器所持関連事件で介入している。

リヨン市第7区で、武器を片手に自分たちの写真を取っている15・16・17歳の若者3人を尋問。武器は偽物だったが、どこから手に入れたかは供述していない。また、Bron 市では、路上の駐車スペースをめぐる言争いに、警察に連絡しようとした運転手にむかって、相手の55歳の男がピストルを振りまわした。警察が到着すると、この男は助手席の女性の鞆の中に銃を隠した。この銃は、7.65口径のピストルだった。また、リヨンパールデュエ駅ではニース在住の20歳の若者が交通警備隊のコントロールを受けたところ、靴下の中に銃弾を10個隠し持っており、鞆の中には7.65口径のピストルが入っていた。

4月23日朝、Chassieu 市の空き地に、ブルガリア出身の複数の家族が突然仮住居を据え付けたため、地元警察から連絡を受けた土地の所有者が昼ごろ出向き、6人の女と多くの子供たちがいるのを見つけた。警察が午後1時頃にかかけつけ、立ち退くように監視していたところ、3台のトラック

がやってきて、乗っていた5人の男が警察官に飛び掛って激しく暴行した。警察官の1人が怪我をして入院。取調べによると、ブルガリアで盗難届けの出ているワゴン車の中には、コンピューターや新品の液晶テレビなど高価な物品がたくさんみつき、5人の男性は違法私有地占拠と、集団暴行、盗難隠匿などの罪で取調べをうけている。

4月25日、リヨン市第8区で23日に麻薬保持で逮捕された35歳の男性が有罪判決をうけた。不審な行動で警察に尋問されたこの男性は、5グラムのコカインを所持しており、自分のガレージには220グラムのコカインを保管していた。

⑥ テロなどに関する一般治安情報

4月15日、米国ボストン市で起きた爆発事故をうけて、フランス国内でも Plan Vigipirate 警戒態勢レベルが「Rouge Renforcé 赤強化」となった。

4月23日午前9時半から10時半のあいだ、リヨンサンテクジュペリ空港駅で爆弾警報が発せられた。結局は何者かがゲームの一環でバス停に荷物を縛りつけたただけだったようで、中には爆発物もなく、その後警報は解除となった。

5. 今月の出来事

4月3日、リヨン第二大学の学生で、St Etienne 出身の20歳の女性が、髄膜炎で死亡した。その後すぐに、女性が過去10日間にコンタクトのあった20人ほどが検査をうけた。髄膜炎の菌は感染率が低く、菌の見つかった場合にはワクチン、抗生物質などの治療をおこなう必要がある。10万人に0.84人の発症率で、ローヌアルプ地方では毎年約50人の患者がでていいる。髄膜炎は、頻繁に発生する病気ではないが、稀ともいえない病気である。死亡率は一割程度。

4月13日より、ソーヌ河が増水し危険であるとして、Confluence と Saint Paul を繋ぐ往復船 Vaporetto の運行が中止となっている。17日か18日には再開する見込み。

4月14日午後10時半ごろ、リヨン市第7区の建物の地下階で車二台が炎上し火災が発生。すぐにかけた消防隊のはしご車などによって、建物の住人70人が避難した。消防隊によると、地下で火事が起こった場合には、換気筒などが問題となってくるが、今回の建物は比較的新しい建築物で換気装置がすぐに作動した為無事だったとのこと。警察は今後、この火災が犯罪かどうかを取り調べる。

4月16日午前7時半ごろ、リヨン市第7区 Berthelot 大通りでトラム T2 線が25歳の女性と衝突事故をおこした。女性は重症でリヨン南病院に運ばれた。

4月16日午前8時ごろ、リヨン市第7区 Commandant Ayasse 通りで工事中に、ショベルカーが間違ってガスの配管に穴を開けてしまいガス漏れを引き起こした。駆けつけた消防隊とガス局の職員によって、修理中に周りの約20人の住民が避難を呼びかけられた。付近の約300世帯でガスが出ない状況となっていたが、9時半ごろには復旧した。

4月17日午前10時25分ごろ、リヨン市第4区の中学校内で、工事現場からガス漏れが発生。すぐに消防隊とガス局の職員によって止められ、念のため避難した220名の学生も無傷。

4月27日午後10時ごろ、リヨン市第5区のFourvièreの丘St Georges通りで、丘の支柱土壁が崩れ落ちたと住民が連絡したために、消防隊がすぐに駆けつけ、付近の住宅の住民9人を避難させた。リヨンの安全対策課が翌日現場を訪れ、専門家が原因を追究している。29日には補修工事が行われる。

4月28日朝、高速A7のSolaizeとChasse-sur Rhone間で接触事故のため渋滞。車の後部座席にあるものを取るために高速道路の緊急停止側面に停車したが、その際にドアを開けたままにしたため、後から来た車が避けきれずに接触事故を起こした。軽症が1人。

4月28日午後11時ごろ、リヨン市第3区Lafayette大通りでトラムT1線が19歳の女性に衝突。この女性は横断歩道外のトラム線路を横断していた。被害者は頭部打撲のため入院。